

“親子の絆を深める日常体験”をカタチに！ 「第三回 親子の日 絆(KIZUNA)コンクール」作品募集中開始

青少年の健全な育成を目指し設立された一般社団法人 DAC未来サポート文化事業団(代表理事：石川和則)は、米国出身の写真家 ブルース・オズボーン氏が提唱する「親子の日」に共感し、普及活動を行っています。今年も、この「親子の日」を定着させることを目的に、『親子の日 絆(KIZUNA)コンクール』を開催することとなり、6月19日まで作品を募集中です。

今年のテーマは、「僕の／わたしの親子の絆を深める日常体験！」。これまで台東区内の小学校に通う児童が対象でしたが、今年は東京都全域、北海道仁木町、大分県杵築市内の小学校に通う児童に対象を広げ、作品を募集いたします。

■「親子の日」とは

“親子”は外国語にはない言葉で、日本独特の文化です。この“親子”という概念に感銘を受けたブルース・オズボーン氏は、親子の写真を撮り始め、今では4,500組を超える親子に出会ってきました。また、5月第2日曜は「母の日」、6月第3日曜は「父の日」であることから、7月第4日曜を「親子の日」として記念日登録しています。

■『第三回 親子の日 絆(KIZUNA)コンクール』とは



当社団法人は、台東区に30数年にわたり本社を構える総合広告代理店・DACグループ(代表：石川和則)の創立50周年記念事業の一つとして2013年6月に設立されました。地域貢献活動の一環として、長年お世話になった台東区への感謝企画として始まり、今年は後援地域である大分県杵築市、北海道仁木町の小学校も対象に開催いたします。

<実施概要>

主催 : 一般社団法人 DAC未来サポート文化事業団
後援 : DACグループ/台東区教育委員会/北海道仁木町/北海道仁木町教育委員会/
大分県杵築市教育委員会/こころの東京革命協会テーマ : 「親子」「家族」の絆
審査員 : 審査委員長 ブルース・オズボーン氏 (「親子の日」提唱者/アメリカ人写真家)、他
審査基準 : ・家族や親子の絆を、自分なりの言葉や発想をもとに、作文に表現できていること
・文章の中に、直接家族に語りかける場面が一部でも入っていること

<作文テーマ>

僕の / わたしの親子の絆を深める日常体験!

<表彰内容概要>

応募いただいた作品の中から、最優秀賞6作品、優秀賞30作品を選出し、それぞれに賞品を贈呈します。

1. 最優秀賞 計6名(親子6組12名)・・・大分県杵築市へ2泊3日の自然体験旅行
仁木町・杵築市小学生 → 東京都へ (3組6名) / 東京都小学生 → 北海道仁木町へ (3組6名)
2. 優秀賞30名・・・図書券3000円分

<応募要領>

応募作品 : 親子・家族いっしょに過ごした体験から、写真と絵 (もしくはいずれか) のビジュアルと共に「親子の絆」
「家族の絆」をテーマに作文にして郵送していただきます

締切 : 2015年6月19日(金)必着

応募資格 : 東京都全域、北海道仁木町、大分県杵築市内の小学校に通う3年生～6年生の児童とその家族の方

郵送先 : 〒110-0015

東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 13F 「DAC未来サポート文化事業団 親子の日係」宛

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人 DAC未来サポート文化事業団

〒110-0015

東京都台東区東上野4丁目8-1 TIXTOWER UENO 13F

TEL : 03-6860-3951 FAX : 03-6860-3925

kawakami@po.dac-group.co.jp

担当 : 川崎、河上

一般社団法人 DAC未来サポート文化事業団 ホームページ

<http://miraisupport.or.jp/index.html>